

第40期教育研究員 仲門学教諭検証授業

昨日の7月16日(水)に前期教育研究員の仲門学教諭の小学校算数の検証授業を兼城小学校で実施しました。

検証授業には屋良朝俊校長先生をはじめとして、多くの職員の皆さんと南城市からも工夫改善担当者の方々が参観してくださいました。子ども達も30名近くの先生方に囲まれて緊張の中で、一生懸命に学習に取り組んでいました。

【研究テーマ】

数学的な思考力・表現力を育てる学習指導
～「数量関係」における基礎的・基本的な知識・技能を
活用する課題の工夫を通して～

【検証授業における検証の視点】

- (1) 知識・技能を活用する課題の工夫により、根拠を基に考えたり、説明したりすることができるであろう。
- (2) 小集団での相互交流の場を設定することにより、重ね合わせたグラフから資料の特徴や傾向の読み取りを確かめたり、深めたりすることができるであろう。

【検証授業研究会の会順】

- 1 校長あいさつ 兼城小学校長 屋良朝俊
- 2 授業者の反省
 - (1) これまでの検証についての概要の説明
 - (2) 今日の授業について
- 3 質疑応答、討議
 - (1) 検証授業(本時)における質疑
 - (2) 検証の視点をもとに討議
- 4 指導助言 大里南小学校教頭 井口憲治
- 5 所長あいさつ 島尻教育研究所長 上原勝晴



写真1 検証授業の様子



写真2 検証授業研究会の様子



写真3 検証授業を終えて

検証授業者の感想

検証授業を終えて、「子ども達の可能性」を強く感じる事ができました。教えられた知識や技能を、とにかく一生懸命に活用して問題を解こうとする姿は、キラキラと輝いていました。その輝きをさらに高めるためにも、教師による授業の工夫がどれだけ大切なことなのか、ということも改めて強く感じる事ができました。100%の授業実践を心がけているつもりでも、実際の授業では、なかなか上手くいかないこともあり、課題も多くあります。この課題を1つ1つ今後の授業で解決してゆくことができるようにさらに、研究所での研究を基礎に新しい工夫や改善を加えながら、「子ども達の可能性」を伸ばせるよう頑張っていこうと気持ちを新たにしています。

台風8号の影響で、8日間授業があいてしまったにもかかわらず頑張ってくれた子ども達、多忙の中、日程を調整して下さった校長先生をはじめとする兼城小学校職員の皆さん、指導講師の井口教頭先生、その他検証授業を参観して下さいました多くの先生方に感謝したいと思います。(仲門 学)